

# ながさき 県議会だより



2月定例会

がんばくん

らんばんちゃん

### 審査した案件と結果

知事提出の議案	
・予算 33件(可決)	・計画 3件(可決)
・条例 40件(可決)	・人事 1件(同意)
・事件 17件(可決)	
議員等提出の案件	
・発議 3件(可決)	
・意見書 4件(可決)	
・決議 1件(可決)	
請願	
1件(採択)	

- ### 可決された意見書
- ◎ 離島・半島地域の振興対策に関する意見書
  - ◎ I R推進及び観光振興に関する意見書
  - ◎ 九州新幹線西九州ルートへの整備促進・交通対策に関する意見書
  - ◎ 新型コロナウイルスの感染拡大防止等を求める意見書
- ### 可決された決議
- ◎ 新型コロナウイルスの感染拡大防止等に関する決議
- ### 採択された請願
- ◎ 「長崎県歯・口腔の健康づくり推進条例」改定を求める請願書

## 令和2年2月定例会にて、約7,260億円の「令和2年度長崎県一般会計予算」等を可決

令和2年2月定例会は2月25日から3月19日まで開かれ、開会初日は、3つの特別委員会から委員長報告が行われた後、「離島・半島地域の振興対策に関する意見書」など3件の意見書を可決しました。

その後、各常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定し、併せて離島・半島地域振興特別委員会は引き続き、観光振興・交通対策特別委員会及び人口減少・雇用対策特別委員会を新たに設置し、その委員構成を決定しました。

また、令和2年度長崎県一般会計予算などの議案が上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、関連する議案について提案理由の説明を行いました。

3月3日からの一般質問では、12名の議員が登壇し、新型コロナウイルス感染症対策、九州新幹線西九州ルートへの整備促進、I R施設誘致、人口減少対策、農林水産業の振興対策、道路・港湾整備等の土木行政、教育行政など様々な事項について活発な議論が交わされました。

「長崎県総合計画チャレンジ2020」の最終年度である令和2年度の当初予算の総額は、一般会計で7,259億8,338万4千円、特別会計で2,074億4,552万2千円、企業会計で98億3,191万5千円となり、令和元年度と比較した一般会計の伸び率は4.1%の増となりました。

また、令和元年度2月補正予算は国の経済対策補正予算への対応や、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応のため、一般会計で6億6,188万3千円の増額補正となりました。

本定例会においては「令和2年度長崎県一般会計予算」など議案97件を原案のとおり可決、同意し、「長崎県歯・口腔の健康づくり推進条例」改定を求める請願書1件が採択されたほか、「新型コロナウイルスの感染拡大防止等」を求める意見書など4件の意見書と「新型コロナウイルスの感染拡大防止等に関する決議」を可決し閉会しました。

### 長崎南北幹線道路について

深堀 ひろし (長崎市/改革21)

【質問】長崎市茂里町・時津町のルート選定状況等と、完成まで川平有料道路の料金を値下げする考えは。また、長崎市と時津町の各地域で意見交換を14回開催している。事業期間は、少なくとも10年以上は要すると考えている。川平有料道路の料金値下げは、現時点での実施は困難であるが、国道206号の交通混雑の解消を図るソフト対策などに関係機関と協力し検討を進めていく。

### 人口減少対策について

中島 廣義 (東彼杵郡/自由民主党・県民会議)

【質問】人口減少に歯止めをかけるためには、若者を県内にとどめる必要がある。若者の県外流出に歯止めをかけるため、どのような企業誘致に取り組んでいくのか。企業誘致に魅力のある良質な雇用の場と新たな雇用の創出を目指し、AI、ロボット、IoT、航空関連など、今後成長が見込まれる分野の企業誘致を積極的に進めるとともに、工業団地を活かした製造業の誘致にも引き続き力を入れ、人口減少に歯止めをかけていきたい。

### 特定複合観光施設区域整備について

山本 啓介 (壱岐市/自由民主党)

【質問】九州各県や経済界とのトップ会談等を積極的にに行い、九州や県内の早い段階での準備と体制作りを進める必要があるのでは。【答弁】I Rが地域にもたらす高い経済効果を九州並びに県内経済界が幅広く取り込むことができるように準備を進めることが重要である。知事と副知事が九州山口各県の知事・副知事並びに経済界トップを訪問し、九州・長崎・I Rの高い経済効果等の説明を行っていき、今後七様々な機会を通して協力を要請する。

### 新型コロナウイルスの観光面への影響について

八江 利春 (諫早市/自由民主党・県民会議)

【質問】観光は本県の基幹産業であるが、今回の新型コロナウイルスが観光面にもどのように影響を及ぼし、県はどのように対応するのか。【答弁】本県では、クルーズ船の入港キャンセルが60隻を超え、主な宿泊施設では、今後の予約も減り、約7万人泊のキャンセルが生じるなど影響が顕在化している。関係事業者と連携し、感染症の発生防止に努めるとともに、事態が収束に向かう時期には効果的な誘客対策を講じることができると、しっかりと準備を進めたい。

### 島原道路の進捗状況と今後の見通しについて

大場 博文 (島原市/自由民主党・県民会議)

【質問】島原市と時津町の各地域で意見交換を14回開催している。事業期間は、少なくとも10年以上は要すると考えている。川平有料道路の料金値下げは、現時点での実施は困難であるが、国道206号の交通混雑の解消を図るソフト対策などに関係機関と協力し検討を進めていく。

### 骨髄ドナー支援制度について

北村 貴寿 (大村市/自由民主党)

【質問】企業に対する骨髄ドナー休暇制度整備の要請状況と県の助成制度の検討状況は。【答弁】昨年10月に県商工会議所連合会等に対し、骨髄ドナーの休暇制度の整備を依頼するとともに、各市町村事例を紹介し、市町の認識を深めている。助成制度を設けるのであれば、県内各市町村で同様の取組を実施することが望ましいが、全国的な課題でもあることから、国に対して働きかけを行うとともに、必要な対策を検討していく。

### 県立世知原少年自然の家の運営について

吉村 洋 (佐世保市・北松浦郡/自由民主党・県民会議)

【質問】世知原少年自然の家の廃止については、期限を設けずに関係者や地域で様々なあり方を議論していただきたいかが。【答弁】関係自治体等からの存続の要望をいただいた。佐世保少年の天地への集約後の受け入れ体制の確保や自然体験プログラムの充実等の対策を一定の時間をかけて検討し、その結果を踏まえ、世知原少年自然の家を廃止について、関係者の皆様の理解を得ていきたいと考える。

### 移住促進と持続可能な地域づくりについて

久保田 将誠 (長崎市/自由民主党)

【質問】移住をさらに促進するためには、現状や課題を踏まえた改善を図っていくことが必要と考えるが、県の考えは。【答弁】移住サポートセンターと新たに設置する「人材活躍支援センター」の連携や、就労支援サイト「Nナビ」の連携による就業支援体制を強化する。また、新たな情報発信の拠点を配置するほか、関係団体の創出拡大を図るなどの関連施策を市町とも連携し一丸となって推進していく。

### サイクルツーリズムの推進

川崎 祥司 (長崎市/公明党)

【質問】南島原市では、島原鉄道廃線跡を自転車専用道路にすべく、南島原市自転車活用推進計画を策定し、来年年度から整備を行う。県の支援も欠かさないが、見解は。【答弁】サイクルツーリズムは、観光振興や健康増進において重要な施策である。県・市の関係部局や地元団体等と一体となって効果的に推進できるように取り組んでいくため、長崎県サイクルツーリズム推進協議会を立ち上げ、整備手法やソフト施策について検討を行い、積極的に支援していく。

### 志佐川の防災対策について

石本 政弘 (松浦市/自由民主党・県民会議)

【質問】志佐川の中流から下流の河川内に大量の土砂の堆積や樹木の繁茂が見られ、このまま放置すると河川の氾濫等により家屋浸水や人命に危険を及ぼすおそれがあり、早急な対策が必要と考えるが、今後どのような防災対策を講じていくのか。【答弁】令和2年度から新たに創設される緊急浸透推進事業などの有る起債事業を積極的に活用し、現地の危険度を調査した上で、治水安全上支障となる箇所について、来年度から計画的に浚渫及び伐木を実施していきたい。

### 国体・全国障害者スポーツ大会について

宅島 寿一 (雲仙市/自由民主党)

【質問】国体の結団式は県立総合体育館で開催し、多くの方々がエールを送っているが、全国障害者スポーツ大会の結団式は県庁ロビーで行っている。両大会の結団式、解団式を一緒に開催することができないか。【答弁】合同開催は、障害者スポーツへの認知度向上と障害者及び障害者への県民の理解が深まること、期待される。スケジュール調整や、選手の身体的負担等の課題もあるので、関係団体等のご意見も参考にして検討していく。

### 教職員の労働時間規制にともなう取組

坂本 浩 (長崎市/改革21)

【質問】教職員の長時間労働の縮減に向けた進捗と今後の課題は。【答弁】定時退校日や部活動休養日の設定、繁忙期の業務の見直しなど各学校における好事例の研究等に取り組む。80時間超過勤務教職員の割合は減少している。一方、今、国から超過勤務時間の目安として、月45時間との指針が出されたことから、指針の達成に向けて、教職員、保護者、地域の3者が一体となって地域の実態に合わせた持続可能な教育活動に方向転換していくことが今後の課題である。

### 予算決算委員会

委員長/大久保 深重

【質問】ユニバーサルツーリズムセンター設置の概要は。【答弁】ユニバーサルツーリズムセンターは、長崎空港内に設置する予定であり、比較的用户が多い時間帯を中心に、常時2名体制での対応を予定している。高齢者や障害者の方々安心して旅行ができるよう、県内の宿泊施設や観光地を含めた様々なバリアフリー情報の提供などを行うこととしている。

### 環境生活建設委員会

委員長/山本 由夫

【質問】SDGs未来都市である長崎市が「気候非常事態宣言」を表明したが、県はどのように取り組んでいくのか。また、レジ袋削減への取組状況は。【答弁】来年度策定する次期地球温暖化対策実行計画で明確なビジョンや今後の方向性を示しながら、温室効果ガスの削減目標を設定し、周知手法についても検討していく。レジ袋削減については、イオン九州6店舗と新上五島町の8事業者16店舗が、県と協定を締結し、既に有料化に取り組んでいる。7月開始の義務化については、国と連携し周知に努めていく。

### 農水経済委員会

委員長/近藤 智昭

【質問】新型コロナウイルス感染症の影響により先行きが不透明な状況の中、本県の事業者も不安を抱えており、事業者寄り添って対応してほしいが、緊急資金繰り支援資金の相談件数はどのような状況か。【答弁】相談窓口を設置した2月7日から3月6日までの合計で198件となっている。宿泊業や小売業、飲食業等の幅広い業種から相談が寄せられており、日ごとに相談件数が増加している。

### 総務委員会

委員長/山口 経正

【質問】災害に強い長崎県づくりのために国土強靱化地域計画の地域版を策定する必要があると考えるが、県内自治体の策定の進捗状況は。【答弁】本年2月現在で、時津町と新上五島町の2町が策定済みで、3月中には9市町が策定する予定。残りの10市町のうち9市町が9月までに、1町が来年3月の策定を予定している。

## 特別委員会の1年間の活動について

長崎県議会では、昨年5月に「離島・半島地域振興特別委員会」「I R・観光振興対策特別委員会」「九州新幹線西九州ルート・交通対策特別委員会」を設置し、それぞれ特定の事項について調査を行ってきた。その調査内容をとりまとめ、令和2年2月定例会において知事への意見書を提出しました。内容は以下のとおりです。

- 1 離島・半島地域の振興対策に関する意見書において、離島・半島地域における雇用機会拡充等の総合的な対策が必要であるとして、
- 2 離島・半島地域の振興対策について、世界遺産の周辺情報等による交流人口の拡大、情報インフラの格差解消、長崎市野母崎地区の振興、対馬の韓国観光客減少対策、
- 3 離島地域航空路・航空路対策について、シエッタフォイルの更新に必要な取組、
- 4 人口減少対策について、女性の県内定着及びUターン者の拡大促進、高校生の県内就職支援、移住相談体制の充実、農業での外国人材の活用、
- 5 I R推進及び観光振興に関する意見書において、さらなる観光振興を図り、九州・長崎・I Rが国の区域認定を受けるため、
- 6 I R対策について、I Rの区域認定の獲得に向け県内各部署が一丸となり諸準備に万全を期すこと、I R区域への交通インフラ整備とアクセス強化、ギャンブル依存症対策など懸念される社会的リスクの最小化、
- 7 観光振興対策について、観光県長崎のさらなる魅力アップのための観光関連予算の拡充や関係機関との連携強化、新たな周遊ルート開発等の旅行者に滞在を促す取組、ユニバーサルツーリズムの推進、
- 8 国際戦略について、ランドオペレーターに対する、周遊プランの提案等により県内経済への波及効果を最大限高めると、韓国観光客減少問題に対する支援の継続、インバウンド受入体制の強化とSNS等による海外への積極的な情報発信などを要望しました。
- 9 九州新幹線西九州ルートの整備促進・交通対策に関する意見書において、将来の西九州地域の発展のために全線フル規格による新大阪への直通運行を実現し、全国の新幹線ネットワークに接続することが必要不可欠であるとして、
- 10 九州新幹線西九州ルート整備対策について、新島橋・武雄温泉間のフル規格による整備実現関係者間の合意形成を図るため、政府と県等への働きかけ、県民の理解促進を図る取組、開業効果を高めるための市町村との連携強化や受入体制の構築、
- 11 地域公共交通形成計画を策定するための総合調整、
- 12 交通弱者対策について、運転免許自主返納高齢者等に対する支援策、コミュニティ交通の利用促進、
- 13 長崎空港対策について、国際線のチャーター便誘致一部リモーターによる運用時間の延長、コンセッション方式を含めた運営手法の検討などを要望しました。

## 常任委員会常任・議会運営委員会並びに特別委員会委員名簿 (令和2年4月1日現在)

委員会	委員長	副委員長	委員
総務委員会	山口 経正	北村 貴寿	小林 克敏、山本 堤、山本 典子、山口 初實、大久保深重、浦川 基雄、外間 雅広、松本 洋介、中村 功、山口 祥司、赤木 幸仁、田中 愛国、こづまなみ、中村 泰輔、八江 利春、浅田ますみ、山下 博史、坂本 智徳、西川 克己
文教厚生委員会	深堀ひろし	石本 政弘	中村 下条、中村 泰輔、山田 朋子、法広
環境生活建設委員会	山本 由夫	久保田将誠	満口美英雄、宅島 寿一、徳永 達也、宮島 大典
農水経済委員会	近藤 智昭	中村 一三	坂本 智徳、西川 克己、中島 廣義、坂本 浩
予算決算委員会	大久保深重	松本 洋介	議長、正副委員長を除く全議員
議会運営委員会	中島 浩介	宅島 寿一	中山 功、外間 雅広、山口 経正、北村 貴寿、吉村 洋、浦川 基雄、坂本 智徳、徳永 達也、大久保深重
離島・半島地域振興特別委員会	山下 博史	堤 典子	坂本 智徳、徳永 達也、大久保深重、堀江ひとみ、大場 博文
観光振興・交通対策特別委員会	八江 利春	川崎 祥司	田中 愛国、松本 洋介、小林 克敏、坂本 浩、山田 博司、久保田将誠
人口減少・雇用対策特別委員会	山口 初實	中村 一三	満口美英雄、麻生 隆、中島 廣義、宮島 大典、西川 克己、山本 由夫、下条 博文

### お知らせ

**テレビ放送**  
令和2年2月定例会の様様をまとめた「県議会リポート」を放送します。  
○令和2年4月18日(土)15:55~  
NCC長崎文化放送 5ch

**動画配信**  
本会議・委員会のインターネット中継録画配信を行っています  
長崎県議会 検索

令和2年2月定例会の様様をまとめた「県議会リポート」を放送します。  
○令和2年4月18日(土)15:55~  
NCC長崎文化放送 5ch

本会議・委員会のインターネット中継録画配信を行っています  
長崎県議会 検索

提供/長崎県議会 ご意見・お問い合わせなど/議会事務局(政務調査課)TEL095(894)3634